

5年生 臨時休業中課題 音楽

5年 組 名前

★ 歌をとおして日本の風景を見てみよう

(教科書 P8～P11 こいのぼり をききましょう)

前回の課題では、「こいのぼり」という曲の意味調べを行いましたね。言葉の意味を調べて、なんとなく意味が分かった人もいます。

ここで今回の課題です。

① 1番から3番までの歌詞の内容を絵で説明しましょう。

分かりやすいように文で説明をいれてもいいです。

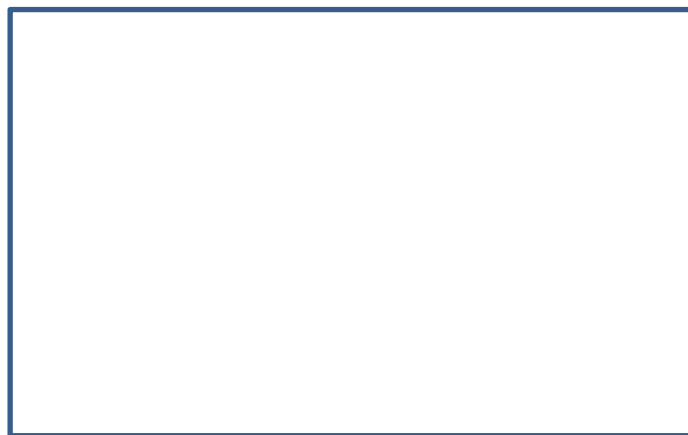
「こいのぼり」の歌詞を声に出して読んでからはじめましょう。



1番の風景



2番の風景



3番の風景

ちょっとむずかしかった人もいましたか？言葉の意味が分からないと絵にするのもむずかしいですよね。

では、この課題プリントのうらに、歌詞の内容について先生の解説を書きます。

前回の課題で、「なぜこいのぼりをかざるのか」という問題がありました。この解説を読めば、その答えが分かると思います。

こいのぼり	
一、	いらかの波と 雲の波
二、	重なる波の 中空を
三、	た ち ば な か お る 朝 風 に
四、	高 く 泳 ぐ や こ い の ぼ り
五、	開 け る 広 き そ の 口 に
六、	ふ ね を も の ま ん 様 見 え て
七、	ゆ た か に ふ る う お ひ れ に は
八、	物 に ど う ぜ ぬ 姿 あ り
九、	も も せ の た き を 登 り な ば
十、	た ち ま ち り ゆ う に な り ぬ べ き
十一、	わ が 身 に 似 よ や 男 子 と
十二、	空 に お ど る や こ い の ぼ り

「ももせ」は漢字で「百瀬」と書きます。「瀬」は浅く水が流れている場所。「百」はここでは100という数字ではなく、たくさんという意味です。そんな急な滝を登り切ったこいは、りゅうになるという伝説があります。中国の伝説です。「そんな私のようになりなさい」と、こいのぼりが空でいきおいよく泳ぐ様子を表しています。

開いている広い大きなその口は、船さえ飲み込んでしまいそうです。（教科書の写真のこいのぼりも大きな口ですね！）
ゆったりとゆたかに振っている尾ひれには、ものに動じない堂々とした様子が表れています。（教科書の写真のこいのぼりも風でゆったり動いているようにみえます！）
※なぜこいのぼりをかざるか、ちよっと分かってきましたか？

「いらか」とはかわら屋根のことです。
（かわら屋根は教科書 P8,9 の写真にのっています。）
1番は、かわらの波と空にある雲の波の間をこいのぼりが堂々と泳いでいる様子を表しています。「たちばな」とはみかんの仲間の植物ですが、実がなるのは5月～7月ごろです。つまりこいのぼりをかざる時期ですね！！

「こいのように、体も心もたくましく成長してほしい」という願いをこめてかざるんですね。

② さて、歌詞の内容が分かったところで、教科書の楽譜のページを見て歌ってみましょう。インターネットを使い、教育出版 音楽のページで「こいのぼり」をききながら歌おう。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/shou/ongaku/index.html>

③ 歌ってみて、どんなふうになら歌うと歌いやすくなりましたか？

「こんなことに気を付けるとうまく歌える！」というアイデアを下に書いてください！

※声についてのことでもいいし、音ぶのこと、体の使い方のこと…たくさんの発見をまっています。

教科書の楽ふのページを見て歌ってみてもヒントがあるかも…。書ききれない人は別に紙を使っても OK！